

柔軟な姿勢で どこにももない製品を造る

(株)エトウ

代表取締役
(大川商工会議所副会頭)

江藤 義行 さん

外観

(株)エトウの「KOTOKA」が、ウッドデザイン賞2015のハートフルデザイン部門で受賞した。

「KOTOKA」とは、等級の高い、熊本産檜材だけを使用したデザイン性の高い国産2段ベッド。ピタミんカラーがアクセント。子供たちが想像力あふれる時間を過ごすように、遊び心があるデザインになっている。2014年秋の発表以降、高評価を得てきた。「OKAWA Furniture」2014 住空間デザインコンペ」では財務大臣賞を受賞。昨年2月にあった韓国の

展示会でも良い反応を得られた。「仕事には関係ないけど子どもに買いたい」「韓国で販売してほしい」という声が聞かれたという。そして今回のウッドデザイン賞受賞……。

大川商工会議所副会頭で、(株)エトウの社長の江藤義行さんに「KOTOKA」を中心に話をお聞きした。

「KOTOKA」開発のきっかけは何だったのだろうか。「近年、台湾や韓国で、日本のヒノキが注目されつつあります。アジアにはたくさん木材はありますが、ヒノキのように効能があり、木肌が美しい木はあまり見られないのです。そんな中、輸出も視野



ALL MADE IN JAPAN 
KOTOKA

Environmentally friendly and safe, the natural beauty
of natural solid wood makes it the perfect choice
for your child's room, school, or office.

檜の無垢材の中で
眠ることは、
とても賢いな
睡眠環境です。



九州のヒノキ材を使用したシリーズ「KOTOKA」の二段ベッド

に入れた、九州産のヒノキを使った家具づくりをスタートさせたのです。」
さらに別の要素も。「いま日本には檜の伐採時期を迎えている山がたくさんあるのに聞わず、放置されている状況があります。」と江藤さんは語る。
ベッドに檜を使うのには訳がある。「ヒノキの特性を調べていくと、抗菌効果や消臭効果もち、さらに気分を落ち着かせる香りの成分があり、とりとした木肌もいい。特に



丸みを帯びたきれいな仕上がり

二段ベッドにヒノキの無垢材を使うことは、子どもたちによい睡眠環境が提供できま



2口コンセントの宮棚付きで便利



手入れされたヒノキの森

ベッドにぴったり。
「KOTOKA」の高さは146cm。コンパクトサイズでマンションやアパートなどで圧迫感を感じることがない。ベッドのあらゆる角には全て丸み加工が施されていて、「安心・安全に使えるベッド」になっている。また上段・下段どちらにも2口コンセント付きの宮棚があり、携帯電話やゲーム機などを寝ている間に充電したり、小さな間接照明を取り付けることができるの

で、とても便利。

ベッドは分割してシングルベッドとしても使用可能。子供たちが成長しても買い換え

が必要がない。とても経済的だ。チェストや椅子を含めた

「KOTOKA」シリーズで、「海外を含めたさまざまな販路にチャレンジしていきたい。日本のマーケットは縮小していく傾向にあるからです。」と江藤さんは意欲的だ。そして今、台湾から発注を受けている。需要に対し、生産が追いつかないほど人気があるそう

だ。
「KOTOKA」は関連会社でネット販売を行う(株)スマート・アイのサイト(わくわくランド)から購入することができる。

(株)エトウでは今後「新製品開発」に一層力を入れていく。「どこにもない製品を



ウッドデザイン賞2015
ハートフルデザイン部門で受賞



OOKAWA The Future Furniture 2014
第24回住空間デザインコンペ
財務大臣賞受賞



韓国での展示会の様子

造り、差別化を図っていきたい」という。「本社はもちろんですが、ベトナムの自社工場にも開発担当者を3名おいています。そして現地からの要望に応える体制もつくっています。」

夢は何だろうか。「これまで海外展開やネット販売など時代に応じた経営を心がけてきました。一層柔軟な姿勢で業態を向上させていきたいですね。創業100周年を迎える2020年に経営目標を是非達成し、全社員で東京オリピックに行くのが夢です。」